



MS100DR

取扱説明書

はじめに

このたびはヤマハ・DTXシリーズ用 モニター システム MS100DRをお買い上げいただきましてありがとうございます。MS100DRは、サブウーファーと2本のサテライトスピーカーの構成(合計出力180W)で、電子ドラムのサウンドを高品位に再現し、アコースティックドラムを叩いているような臨場感が得られます。なお、サブウーファー部には、豊かな重低音を再生するバスレフ方式を採用しています。また、ドラム音源を接続するメイン・インプット・ジャックのほかにステレオのミックス・インプット・ジャックとライン・アウトプット・ジャックを装備して、練習のモニタリングだけでなく、ライブ演奏やレコーディングにも対応しています。MS100DRの優れた機能を使いこなしていただくために、本書をご活用いただけますようご案内申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備え、本書を大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

※ お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



記号は、危険、警告または注意を示します。



記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



警告 この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



設置場所は床面が平らで丈夫な所にしてください。床が傾いていたり、段差があると不安定となり、転倒する恐れがあります。



パネルやキャビネットは、絶対に開けないでください。また、分解・改造はしないでください。感電や故障の恐れがあります。



ケガをする恐れがありますので、小さなお子様が取り扱いされる際はじゅうぶん注意してください。



外部機器との接続の際は、ケーブルの引きまわしに注意してください。足を引っかけて転倒する恐れがあります。



サイドパネルのヒートシンクを布やカーテンなどでふさがないようにしてください。冷却効果が弱まり、故障や火災の原因になります。



この製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水、ジュースなど)を絶対に入れないでください。故障の原因になります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



この製品は、風通しの良い場所に設置して使用してください。



この製品の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。



この製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。



落雷の恐れがある場合には、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。



お手入れをする時は、電源を切って電源プラグを抜いてから行ってください。

製品取扱上のご注意

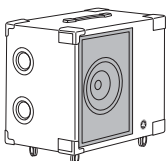
- この製品の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。このような場合は、間隔や方向を変えてください。
- この製品をテレビやラジオの近くで使用すると、テレビに色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。このような場合は、製品を離して使用してください。
- この製品を分解や改造をしたり、またつまみや端子等に無理な力を加えないでください。故障や性能劣化の原因になります。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど)や、湿気が多い場所(雨天の屋外など)での使用、保管はしないでください。変形、変色、故障や性能劣化の原因になります。
- 外装部分のお手入れは、柔らかい布などで拭き取るようにし、シンナー系の液体やスプレー類は絶対ご使用にならないでください。
- ケーブルの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。また、無理に曲げたりケーブルの線の部分に重いものを乗せたり、とがったものが触れたりしないように注意してください。線の部分に無理な力がかかると断線などのトラブルの原因になります。

同梱品確認のお願い

セッティングをはじめる前に、以下のものが同梱されているかどうか確認してください。

◆ MS100DR×1

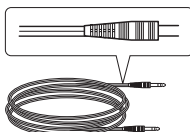
・サブウーファー・アンプユニット×1



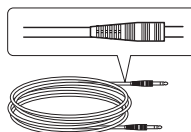
・サテライトスピーカー×2



・スピーカーケーブル×2



・フォンケーブル×2



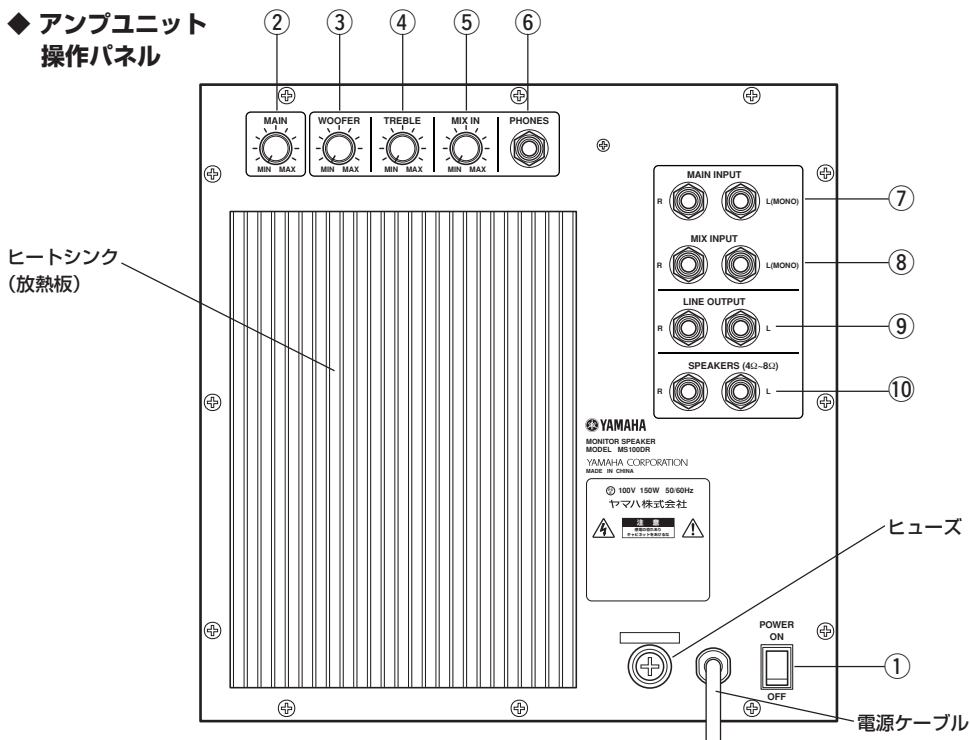
・スピーカーアタッチメント SPAT1 (左右2個一組)



・取扱説明書(本紙)×1

各部の名称と機能

◆ アンプユニット 操作パネル



① 電源スイッチ

電源のON・OFFをするスイッチです。

② メインつまみ

メイン・インプット・ジャック(⑦)に接続した機器の音量を調節します。

③ ウーファーつまみ

本体のウーファアの音量を調節します。左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がります。

④ トレブルつまみ

高音域を調節します。右に回すと強調され、左に回すと低減します。

⑤ ミックス・インつまみ

ミックス・インプット・ジャック(⑧)に接続した機器の音量を調節します。

⑥ ヘッドフォン・ジャック

ヘッドフォンを接続するための端子です。接続すると、スピーカーからは音を出しません。

⑦ メイン・インプット・ジャック

ドラムの音源を接続する端子です。モノラル出力の機器に関しては、L(MONO)のジャックに接続します。

⑧ ミックス・インプット・ジャック

CDやMDプレーヤーなどを接続する端子です。モノラル出力の機器に関しては、L(MONO)のジャックに接続します。

※ このジャックに入力された信号は、ライン・アウト・ジャック(⑨)からは出力されません。

⑨ ライン・アウト・ジャック

メイン・インプット・ジャック(⑦)に入力された信号をそのまま出力します。

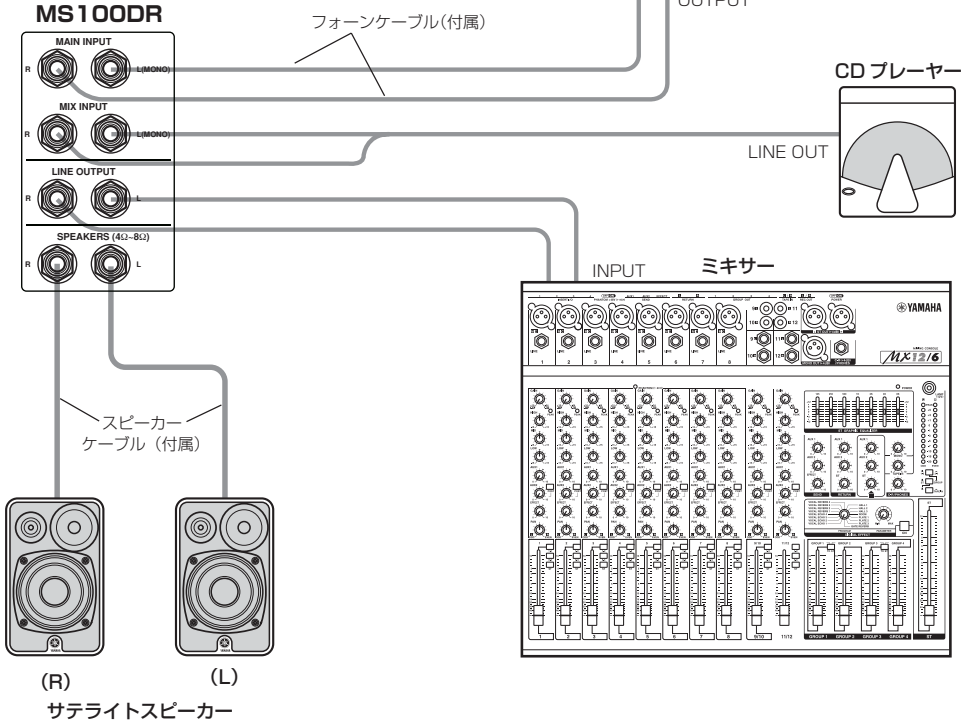
⑩ スピーカー・ジャック

この製品に付属のスピーカーを接続する端子です。接続するには、付属のスピーカーケーブルを使用してください。

※ 付属のスピーカー以外は、接続しないでください。

接続方法

※ MS100DRと外部機器を接続する場合は、各機器の電源プラグを抜き、音量を絞った状態にして接続してください。機器が誤動作をしたり故障、破損することがあります。



電源の ON/OFF の仕方

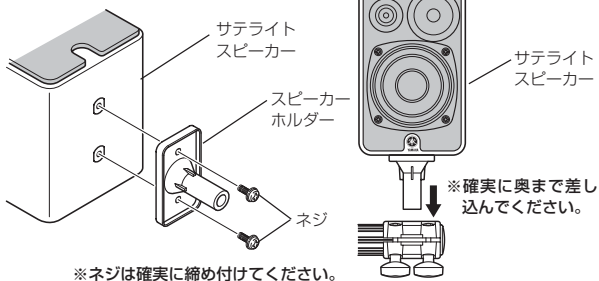
※ MS100DRと外部機器を正しく接続したら、次の手順に従い電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作や故障、スピーカーなどが破損することがあります。

1. 本機および各機器の音量つまみがすべて「0」になっていることを確認します。
 2. メイン・インプット・ジャックおよびミックス・インプット・ジャックに接続した機器の電源を入れます。
 3. MS100DRの電源を入れます。
 4. ライン・アウト・ジャックに接続した機器の電源を入れます。
 5. 各機器の音量を調節します。
- 電源をOFFにする時は、各機器の音量を絞り、電源を入れる手順と逆の手順で電源を切ります。

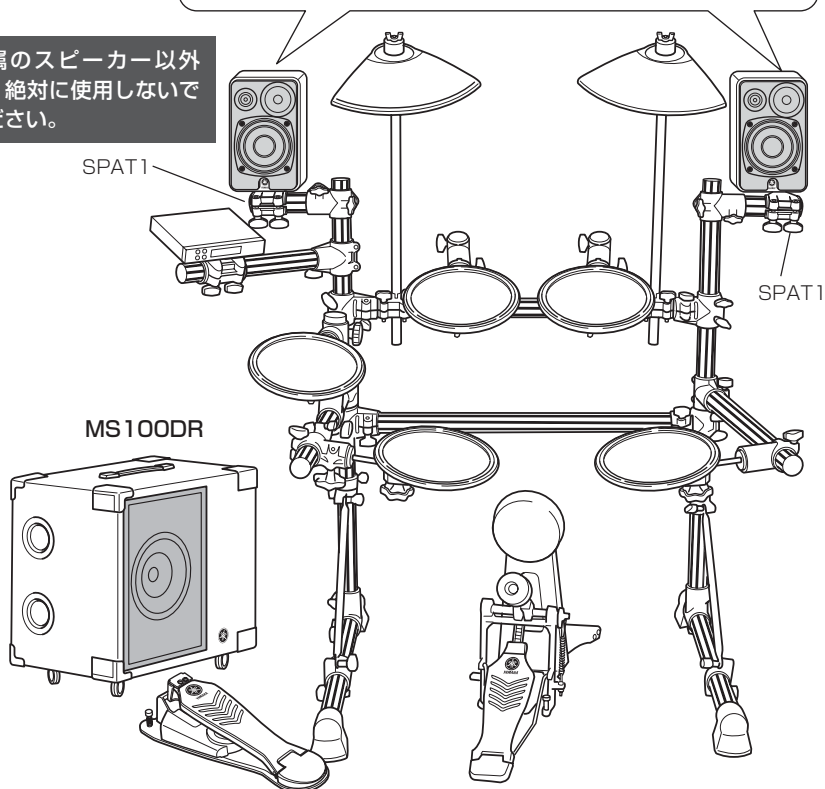
■ セッティング例

付属のスピーカーアタッチメント(SPAT1)を使用して、サテライトスピーカーをドラムスタンドに取り付けてください。

● SPAT1の取付方法



※ 付属のスピーカー以外は、絶対に使用しないでください。



※ サイドパネルのヒートシンクを布やカーテン等でふさがないようにしてください。また、横倒しにしたり上下逆さまにしないでください。

接続したケーブル類は、煩雑にならないように配慮してください。特にコードやケーブル類は、お子様の手が届かないよう配慮してください。

仕様

● システム構成

- ・ サテライトスピーカー(x2)
- ・ サブウーファー・アンプユニット

● 定格出力

- ・ サテライトスピーカー 40W/4Ω(x2)
 - ・ サブウーファー 100W/4Ω
- 合計180W

● 規定入力レベル

- ・ メイン・インプット -10dBm
- ・ ミックス・インプット -10dBm

● 規定出力レベル

- ライン・アウトプット -10dBm

● サテライトスピーカー

- ・ 4"ウーファー
- ・ 2"ミッドレンジ
- ・ 1" ツイーター

● サブウーファー

- 10" ウーファー

● コントロール

- ・ メインつまみ
- ・ ウーファーツまみ
- ・ トレブルつまみ
- ・ ミックス・インつまみ
- ・ 電源スイッチ

● 接続端子

- ・ メイン・インプット・ジャック (L/モノ, R)
- ・ ミックス・インプット・ジャック (L/モノ, R)
- ・ ライン・アウトプット・ジャック(L, R)
- ・ スピーカー・ジャック(L, R)
- ・ ヘッドフォン・ジャック

● エンクロージャー形式

- ・ サテライトスピーカー 密閉型
- ・ サブウーファー バスレフ型

● 電源

- AC100V(50/60Hz)

● 消費電力

- 150W

● 外形寸法

- ・ サテライトスピーカー
127(幅) X 106(奥行) X 205(高さ)mm
- ・ サブウーファー・アンプユニット
540(幅) X 350(奥行) X 505(高さ)mm

● 質量

- ・ サテライトスピーカー 1.5kg(片側)
- ・ サブウーファー・アンプユニット 30kg

● 付属品

- ・ 取扱説明書(保証書含む)
- ・ スピーカーアタッチメント(SPAT1)
- ・ スピーカーケーブル x 2
- ・ フォーンケーブル x 2

※ 0dBm = 0.775V

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

ヤマハ管弦打楽器インフォメーションセンター 〒430-8650 浜松市中沢町10-1 TEL:(053)411-4744
受付日：月曜日～土曜日（日曜、祝日およびセンター指定休日を除く） 受付時間：10：30～19：00

ヤマハ株式会社各事業所／営業所

EM企画推進室GD担当	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5445
EM北海道	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	TEL(011)512-6113
EM仙台	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)222-6147
EM名古屋	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
EM大阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9	TEL(06)6252-5231
EM九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130

アフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

保証書は、販売店にて「販売店印、お買い上げ年月日」の押印、記入をしてお渡します。お買い上げの際にご確認の上、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理致します。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

修理可能な部分は、ご希望により有料にて修理させていただきます。但し、修理料金や補修部品の保有期間の都合によって、相当品の代替購入をおすすめする場合もございます。

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

● 持ち込み修理のお願い

まず本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常のあるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点（修理、サービス問い合わせ先）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50	ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号		
		京浜トラックターミナル内14号棟A-5F		TEL(03)5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200	ヤマハ(株)和田工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ名古屋流通センター3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新屋下1-16	ヤマハ千里丘センター内	TEL(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	ヤマハミュージック高松店内	TEL(087)822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL(092)472-2134
[本社]CSセンター	〒430-8650	浜松市中沢町10-1	ヤマハ(株)本社工場内	TEL(053)462-1131

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。



※これは日本電子工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

●音を楽しむエチケット●

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮をじゅうぶんにいたしましょう。静かな夜間には小さな音でも良く通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

WC89631